

エコアクション21

環境経営レポート

令和4年度

対象期間 令和4年6月～令和5年5月



発行日 令和5年6月20日

株式会社 南建設

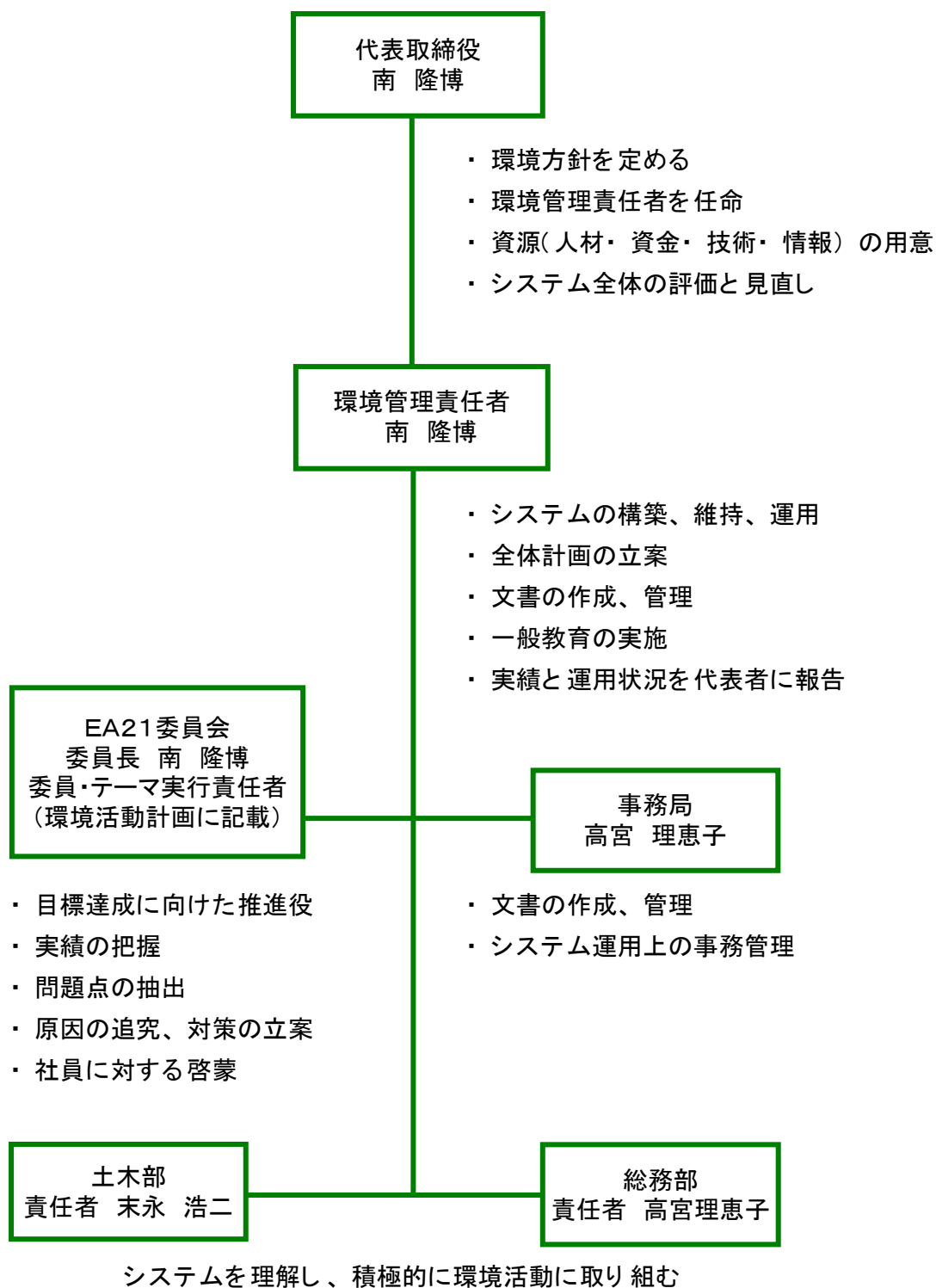
目 次

1. 会社概要	…1
事業所名	
所在地	
環境管理責任者	
事業内容（特定建設業許可・産業廃棄物収集運搬業許可）	
所有車両・重機	
事業規模	
認証・登録の対象組織・活動	
2. 実施体制	…2
3. 環境方針	…3
4. 環境目標	…4
5. 環境活動計画	…5
6. 環境目標の実績	…6
7. 実施状況の評価及び今後の取組	…7
8. 環境関連法規等の遵守状況	…8
9. 代表者の評価と見直し	…9

1. 会社概要

- (1) 事業所名及び代表者氏名 株式会社 南建設
代表取締役 南 隆博
- (2) 事業所所在地 本社 〒862-0913 熊本県熊本市東区尾ノ上1丁目45番1号
駐車場・倉庫 〒862-0913 熊本県熊本市東区尾ノ上1丁目39番17号
資材置場 〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水字北原1411
- (3) 環境管理責任者氏名及び連絡先 環境管理責任者 南 隆博
TEL096-381-1655 FAX096-381-2335
e-mail : minami@k-minami.jp
- (4) 事業内容 特定建設業 熊本県知事許可(特-4)第3436号
有効期限 令和4年10月30日~令和9年10月29日
(土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業)
産業廃棄物収集運搬業 熊本県知事許可第04301006461号
有効期限 平成31年2月18日~令和6年2月17日
(金属くず、がれき類、廃プラスチック類)
自社建設工事の関連産業廃棄物のみ取り扱い
- (5) 所有車両・重機 4tダンプ2台 3tダンプ1台
4t ユニック1台
バックホウ 0.70m³ 1台、0.45m³ 1台、0.25m³ 1台、
0.20m³ 3台、0.15m³ 1台 タイヤショベル0.35m³ 1台
内、産業廃棄物収集運搬車両: 4tダンプ2台 3tダンプ1台
- (6) 事業規模 資本金 30(百万円)
売上高 527(百万円)
設立 昭和45年3月25日
事業年度 6月~5月
従業員数 19名
- (7) 収集運搬量
- | | | |
|----------------|-------|-------|
| コンクリートガラ | 86 t | 令和4年度 |
| アスファルトコンクリートガラ | 334 t | 令和4年度 |
- (8) 取組みの対象組織・活動 全組織・全事業

2. 実施体制



3. 環境方針

【経営方針】

『熊本』の建設企業として、地域に貢献する事業活動を行います

【基本理念】

株式会社南建設は《杜の都》熊本にあり、豊かな自然を次世代に引き継ぐために、建設業を通じて積極的に環境保全に取り組み、自然環境との共存を目指し活動します。

【行動方針】

当社は、環境理念に基づいた環境管理システムを構築して、環境に配慮した活動に取り組み、継続的に環境負荷を軽減して行きます。

そのために、次項を実行することによって、継続的な改善に努めます。

1. 環境負荷の低減と環境保全活動への取り組み

- ① 電力・化石燃料の使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
- ② 産業廃棄物3R(減量・再利用・再生利用)の徹底
- ③ 水の効率的な使用による排水量の削減
- ④ 環境に配慮した施工(騒音、振動、大気汚染)

2. 環境関連法規を遵守します。

3. 環境活動レポートを作成し、社内外に公表します。

- ① E A 2 1 中央事務局のホームページ
- ② 本社受付カウンターに置く

4. 全従業員に、エコアクション21の活動を周知し、全員参加で取り組みます。

改訂日 令和4年6月1日

株式会社 南建設

代表取締役 **南 隆博**

4 . 中期環境目標

項 目	平成30年度		令和4年度 (R4. 6～ R5. 5)	令和5年度 (R5. 6～ R6. 6)	令和6年度 (R6. 6～ R7. 5)
	実績基準	単位			
① CO2排出量削減	84,094	(kg-CO2)	80,730 (-4%)	79,889 (-5%)	79,048 (-6%)
② 電力使用量削減	11,623	(kWh)	11,159 (-4%)	11,042 (-5%)	10,926 (-6%)
③ ガソリン使用量削減	5,059	L (㍓)	4,857 (-4%)	4,806 (-5%)	4,755 (-6%)
④ 軽油使用量削減	26,417	L (㍓)	25,361 (-4%)	25,096 (-5%)	24,832 (-6%)
⑤ 水使用量削減	33	m3	31.7 (-4%)	31.4 (-5%)	31.0 (-6%)
⑥ 産業廃棄物 リサイクル率100% 維持	100	%	100%	100%	100%
⑦ 一般廃棄物排出量削減	804	k g	772 (-4%)	764 (-5%)	756 (-6%)
⑧ 環境に配慮した 施工実施率100%を 維持	100	%	100%	100%	100%

※ CO2排出量=(電力②×0.347) +(ガソリン③×2.322) +(軽油④×2.586)

0.347 : 平成30年度九州電力調整後排出係数(令和2年1月発表)

※ 当社は、P R T R 法対象物質の使用がないため、化学物資の削減及び適正管理については目標化はしていません。

5. 環境活動計画

対象項目	実行責任者	取組内容	時 期	実施状況
① CO2 排出量削減	—	・ ②～⑤の取組結果による	通年	○
② 電力使用量削減	高宮 理恵子	・ 不在箇所、昼休みなどの電気の消灯の徹底	通年	○
		・ エアコンの設定温度の遵守(夏26℃ 冬23℃) (終業15分前にスイッチを切る)	夏冬期	○
		・ OA機器は省エネモードにする	通年	○
		・ 退社時はパソコン・テレビのコンセントを抜く	通年	○
		・ 省エネタイプの電化製品の購入	通年	○
③ ガソリン使用量削減	末永 浩二	・ 急発進・急加速・空ぶかしの禁止	通年	○
		・ 不要のアイドリングのストップ行う	通年	○
		・ タイヤの空気圧チェック(月1回給油時に行う)	通年	○
		・ エアコンを控えめにする	夏期	△
④ 軽油使用量削減	末永 浩二	・ 重機の定期点検整備の実施	通年	○
		・ 重機・車両の低燃費車への切り替え	通年	○
		・ 重機の無駄な動作の削減に努める	通年	○
⑤ 水使用量削減	南 隆博	・ 水を流しながらの洗い物はしない	通年	○
		・ 水道管からの漏水を定期的に点検する	通年	○
		・ 洗車時は散水ノズルを取り付ける	通年	○
⑥ 産業廃棄物のリサイクル率100%維持	宮本 鉄也	・ 分別の徹底	通年	○
		・ 適切なりサイクル業者の選定	通年	○
		・ 産廃物の再資源化・再利用の促進	通年	○
⑦ 一般廃棄物排出量削減	南 隆博	・ 分別ボックスを設置する	通年	○
⑧ 環境に配慮した工事	末永 浩二	・ 低騒音・低振動型の機械の使用	通年	○
		・ 排気ガス対応型の重機の使用	通年	○
		・ 粉じん(砂埃)発生の抑制	通年	○

できた○, できなかった×, ある程度できた△

6. 環境目標の実績(R4年6月～R5年5月)

項目	単位	平成30年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	目標達成率	評価
		H30/6～R1/5	R4/6～R5/5	R4/6～R5/5	(%)	
① CO2排出量削減	(Kg-CO2)	84,094	80,730	79,943	101	○
② 電力使用量削減	(kWh)	11,623	11,159	10,534	106	○
③ ガソリン使用量削減	L(リットル)	5,059	4,857	5,830	83	○
④ 軽油使用量削減	L(リットル)	26,417	25,361	24,155	105	○
⑤ 水使用量削減	m3	33.0	31.7	24.0	132	○
⑥ 産業廃棄物リサイクル率100%維持	%	100	100	100	100	○
⑦ 一般廃棄物排出量削減	kg	804	772	617	125	○
⑧ 環境に配慮した施工実施率	%	100	100	100	100	○

※ CO2排出量=(電力②×0.347)+(ガソリン③×2.322)+(軽油④×2.586)

※ 0.347 : 令和2年度の九州電力調整後の排出係数を使用。

〈評価の基準〉 80%以上 : ○ 80%未満 : ×

7. 実施状況の評価及び今後の取組

項目	評価	
① CO2排出量削減	CO2排出量は、目標達成することができた。 今後もアイドリングストップ等を積極的に行い、削減に努めたい。	継続
② 電力使用量削減	電気使用量は、目標達成することができた。 今後も、事務所内は外光を取入れて、効率良い作業を行い電気使用量削減に努めたい。	継続
③ ガソリン使用量削減	ガソリン使用量は、目標達成することができなかった。 今後は、エコ運転（エアコン調整・急発進・急加速・急ブレーキ等）を意識して、燃費向上に努め目標達成できる様にしたい。	継続
④ 軽油使用量削減	今期は重機の使用頻度も多かったが、エコ運転等の全員の努力により目標達成することができた。今後も、アイドリングストップや過積載の禁止、過剰な負荷運転の禁止など、エコ運転を推進し軽油使用量削減に努めていきたい。	継続
⑤ 水使用量削減	水使用量は、目標達成できた。 今後も環境維持の為に節水意識を高め目標達成出来る様に努めていきたい。	継続
⑥ 産業廃棄物 リサイクル率100%維持	工事現場毎に、産業廃棄物の分別（コンクリート 殻・アスファルト 殻・鉄くず・木くず・廃プラ）を徹底して行い処分場へ搬入してリサイクル率100%の維持に努めてきた。 今後も、工事現場毎にリサイクル率100%を行い産廃管理を徹底していく。	継続
⑦ 一般廃棄物排出量削減	一般廃棄物は、目標達成できた。事務所及び現場事務所から出るゴミ（缶・ビン・ペットボトル・可燃ゴミ・不燃ゴミ）の分別を徹底し、リサイクル率を高め排出量削減に努めていきたい。	継続
⑧ 環境に配慮した 施工実施率	工事の施工に当たり、騒音・振動・粉塵・汚染水の防止に努めて施工を行っている。 今後も、建設廃材のリサイクルを活用して環境に配慮した施工を行っていく。	継続

8 . 環境関連法規等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

適用される法規	適用を受ける内容
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬業の許可証の維持、収集運搬車両への表示、マニフェストの携帯、許可証の控えの携帯、委託契約、保管基準の順守
建設リサイクル法	対象工事の届出、土木工事に係わる分別再資源化の実施
騒音規制法	特定建設作業の届出
振動規制法	特定建設作業の届出
オフロード法	適正燃料の使用、点検整備の励行
消防法	少量危険物貯蔵所の届出、保管管理基準の順守
水質汚濁防止法	事故時の届出
家電リサイクル法	リサイクル料の支払と適正処理
自動車リサイクル法	リサイクル料の支払と適正処理
リサイクル法	パソコンの廃棄時の適正処理
フロン排出抑制法	空調機の簡易定期点検

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。なお、地域住民からの苦情もありません。

9. 代表者の評価と見直し

見直し内容	変更の要否	指示内容
環境方針	否	特になし
環境目標 及び環境計画	否	特になし
実施体制	否	特になし

【代表者の総合評価】

今年度もほぼ、目標達成することができた。

電力、軽油は目標達成することができたが、ガソリンはあと一歩届かず、未達成となった。

環境に配慮した工事では、排ガス、粉塵対策のほかに地域住民の方に極力迷惑をかけないように心がけ、騒音・振動対策などを徹底した。

E A 2 1 の取組を行い今年で11年が経過したが、従業員の環境を意識する姿勢が定着してきて、それが結果につながっていると思う。今後も、環境方針をもとに社員全員で環境保全に努めていきたい。

令和5年6月20日
株式会社 南建設
代表取締役 南 隆博